

平成29年度 事業報告

I 概要

愛知県栄養士会は、公益社団法人として、より公益的な事業に重点を置き、事業を展開しているところですが、平成29年3月より開設しました「無料職業紹介所」が本年度は軌道に乗り、本会の会員のみならず、賛助会員、栄養士会会員以外の方からの求人・求職にも対応し、多くの方々に利用いただくようになりました。

地域包括ケアシステム構築に伴う管理栄養士確保の社会的ニーズが高まる中、優秀な人材を紹介することができるよう、在宅医療・介護人材育成研修会を開催しているところですが「在宅訪問栄養食事指導」を担う管理栄養士の育成を図り、医療圏ごとの活動の場の整備をすすめました。同時に、「在宅医療・介護と多職種連携」の研修会を開催し、医師会等多団体との連携をより深めました。また、(公社)日本栄養士会の栄養ケア活動支援整備事業(厚生労働省補助事業)「栄養ケア寄り添い型ソリューション事業」にも参加し、自立支援マネジメントや地域ケアにおける管理栄養士の役割等、様々な課題の検討を進めているところです。栄養ケア・ステーション事業において、都道府県栄養士会の役割として、地域における在宅療養者・居宅要介護者の栄養ケアを継続的に供給できる体制を整え、県内を網羅できるよう組織づくりを進めました。

スポーツ栄養委員会では、スポーツ競技者への高度な食事と運動を適切に組み合わせた栄養について、セミナー開催や人材育成の研修会を開催したところ、大勢の参加をいただき会員の関心の高さがうかがえました。さらに、(公財)愛知県体育協会、他団体等との連携も深めました。

本年度、災害支援カー「トアス号」が日本栄養士会 JDA-DAT に愛知県の企業より寄贈され、本会で管理することになりました。様々なイベントで展示され、災害支援活動の一端を示しました。

以下、平成29年度の事業について報告いたします。

II 重点項目

1 栄養ケアステーションの充実と強化

食育推進委員会においては、他組織からのイベント等への参加依頼が増加しています。在宅医療・介護事業においては、全県下における活動体系の整備を進めました。

2 関係諸機関・団体との連携強化

在宅医療・介護事業における多職種連携をはじめ、関係諸機関・各団体との連携・調整・強化を図りました。各自治体や企業、各種団体との共催事業、後援事業に協力し、管理栄養士・栄養士の専門性と重要性を訴えつつ、事業の支援、協力を努め公衆衛生の推進・向上に寄与しました。

3 組織強化対策

新規会員の入会を促進するために、引き続き管理栄養士・栄養士の養成校を訪問しました。また、各会員の職場、地域での積極的な勧誘活動を併せて行うよう引き続きお願いしました。継続会員の維持確保に努めるために、組織の強化を図りつつ社会貢献に寄与しました。

4 会員の専門知識・技術の向上および倫理観の醸成

会員の自己研鑽の場としての生涯教育研修会、各種専門的研修会・講演会を開催し、知識・技術の向上を図りました。若い会員に向けての研修は、内容や研修形態などに配慮し実施しました。また、会員以外にもその場を開放し、会員増に繋げるとともに、広く管理栄養士・栄養士の専門性を発揮できる体制づくりと倫理観の醸成に心がけました。

5 社会情勢にあわせたスポーツ栄養への取り組み

スポーツ栄養委員会を立ち上げました。関係団体や企業と連携した講演会を実施しました。運動を適切に組み合わせたスポーツ栄養の指導ができる人材育成に努めました。